

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり0.41人と低いレベルですが、例年終息しているこの時期としては多い状態が続いています。7月以降、広島市衛生研究所で検査したウイルスの型は、ほとんどが新型であることなどから、新型インフルエンザの報告が多く含まれていると考えられます。

また、全国では、インフルエンザの流行開始の目安とされている定点当たり1.00人を超えた自治体の数が増加傾向にあり、今後の動向に注意が必要です。

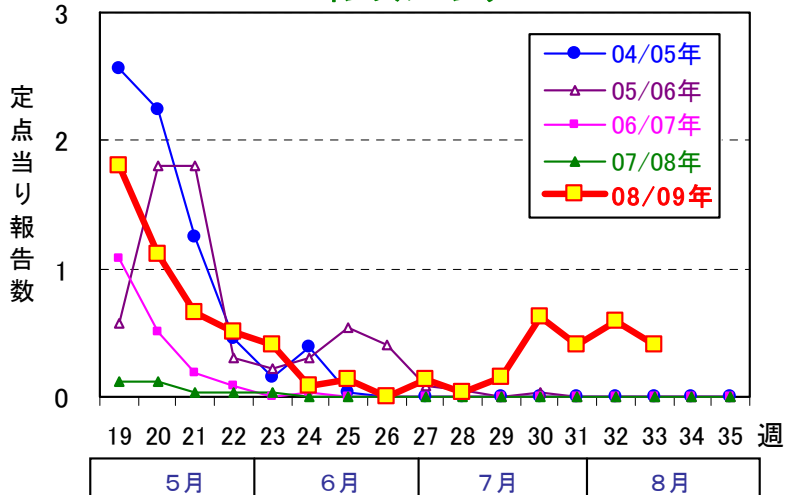
2. 後天性免疫不全症候群

3件の報告があり、今年の累計は17件(エイズ4件、HIV感染者13件)となり、昨年を上回るペースで報告されています(8月16日現在)。

3. ヘルパンギーナ

定点当たり3.96人とほぼ横ばいとなっていますが、3週続けて定点当たり4人前後の多い状態が続いています。安芸区20.0人と特に多く、佐伯区4.3人、中区4.0人、東区3.7人となっています。

インフルエンザ



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点 当り	平 過 均 去 (注) 年 間	発 生 記 号	疾患名	報告数	定点 当り	平 過 均 去 (注) 年 間	発 生 記 号
インフルエンザ	15	0.41	-	◀	ヘルパンギーナ	95	3.96	0.81	▶
咽頭結膜熱	4	0.17	0.47	◀	流行性耳下腺炎	17	0.71	0.46	▶
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	18	0.75	0.49	▶	RSウイルス 感染症	1	0.04	0.01	◀
感染性胃腸炎	55	2.29	3.04	▶	急性出血性 結膜炎	-	-	-	◀
水痘	18	0.75	0.34	▶	流行性角結膜炎	6	0.75	0.88	▶
手足口病	25	1.04	0.56	▶	細菌性髄膜炎	2	0.29	0.03	◀
伝染性紅斑	1	0.04	0.13	◀	無菌性髄膜炎	4	0.57	0.17	◀
突発性発しん	17	0.71	0.66	◀	マイコプラズマ 肺炎	2	0.29	0.37	◀
百日咳	3	0.13	0.02	◀	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	-	-	-	◀

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね 1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況(新型インフルエンザを除く)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	4	136	男性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、女性(80歳代)・2人
5	後天性免疫不全症候群	3	17	男性(30歳代)・感染者、男性(30歳代)・感染者、 男性(40歳代)・エイズ

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第29週	6	7	29	92	30	13	4	23	4	37	29	－	－	8	2	1	2	－
		第30週	23	7	10	71	16	12	6	20	4	47	32	2	－	15	－	1	1	－
		第31週	15	4	17	84	25	18	3	18	5	96	36	6	－	7	1	－	2	－
		第32週	22	5	12	83	10	25	3	21	4	101	29	5	－	6	1	－	2	－
		第33週	15	4	18	55	18	25	1	17	3	95	17	1	－	6	2	4	2	－
定点当り	広島市	第29週	0.16	0.29	1.21	3.83	1.25	0.54	0.17	0.96	0.17	1.54	1.21	－	－	1.00	0.29	0.14	0.29	－
		第30週	0.62	0.29	0.42	2.96	0.67	0.50	0.25	0.83	0.17	1.96	1.33	0.08	－	1.88	－	0.14	0.14	－
		第31週	0.41	0.17	0.71	3.50	1.04	0.75	0.13	0.75	0.21	4.00	1.50	0.25	－	0.88	0.14	－	0.29	－
		第32週	0.59	0.21	0.50	3.46	0.42	1.04	0.13	0.88	0.17	4.21	1.21	0.21	－	0.86	0.14	－	0.29	－
		第33週	0.41	0.17	0.75	2.29	0.75	1.04	0.04	0.71	0.13	3.96	0.71	0.04	－	0.75	0.29	0.57	0.29	－
	全国	第31週	0.56	0.30	0.73	3.05	0.77	1.69	0.15	0.75	0.04	2.61	0.91	0.06	0.02	0.56	0.01	0.05	0.32	0.02
		第32週	0.99	0.25	0.61	2.94	0.62	1.72	0.14	0.75	0.04	2.47	0.84	0.08	0.01	0.66	0.02	0.04	0.36	0.02

■新たに判明した病原体検出状況 (新型インフルエンザを除く)

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	0	男	2009/06/12	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
咽頭結膜熱	0	男	2009/06/12	咽頭拭い液	エコーウイルス3型
咽頭結膜熱	0	男	2009/06/25	糞便 鼻汁(拭い液)	エコーウイルス3型
無菌性髄膜炎	7	男	2009/07/08	咽頭拭い液 髄液	ムンプスウイルス
その他の呼吸器疾患(気管支炎)	1	女	2009/06/06	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスA9型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■広島市における新型インフルエンザ発生状況

第33週

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体定点		1							1
集団発生(確定患者)	1								1
集団発生(疑似症患者)	1								1
入院事例									0
合 計	2	1	0	0	0	0	0	0	3

(備考1) 病原体定点や集団発生の患者で入院した場合は「入院事例」として計上

(備考2) 「集団発生(疑似症患者)」以外はPCR検査による確定例

2009年累計(7月24日以降)

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体定点		6	2						8
集団発生(確定患者)	3	1	3						7
集団発生(疑似症患者)	11	16	6						33
入院事例		1		1					2
合 計	14	24	11	1	0	0	0	0	50

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
 なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2009年第33週(8月10日～8月16日)